

「本県におけるこれからの産業教育の在り方」について(答申)【概要】

令和4年10月31日
広島県地方産業教育審議会

1 本県の産業教育を取り巻く現状

急激に変化する社会

- **急速に進むデジタル技術**
 - ・産業におけるDXを担う人材、イノベーションを創出する人材の育成が必要
- **グローバル化の進展・自国第一主義の台頭**
 - ・お互いに助け合うという日本の精神を大事にしつつ、グローバルな視点をもって、持続可能な社会の構築や国際社会の発展に貢献できる人材の育成が必要
- **現実化する人口減少、少子高齢化**
 - ・本県産業の発展を持続的に支える人材の継続的な育成が必要
- **人生100年時代の到来**
 - ・長い人生における社会の変化を柔軟かつ前向きに受け止め、未来をたくましく切り拓いていく人材の育成が必要

専門高校・専門学科の現状

- **設置状況**
 - ・職業教育を主とする学科を設置する学校数:20校(定員比率:約23%)
- **在籍状況**
 - ・在籍者数は昭和40年度以降、減少傾向。令和4年度は約7,400人が在籍。
- **生徒の学び**
 - ・多くの生徒が、「将来、地域に貢献したい」という高い意欲をもち、明確な夢や目標に向かって学んでいる。
- **進路状況**
 - ・卒業生の約46%が就職、約53%が進学。

2 目指す姿

生徒の姿

- 産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 産業の各分野に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決している。
- 職業人として豊かな人間性を高め、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

教職員の姿

- 本質的な問いを設定する力、ファシリテートする力、教育活動全体をデザインする力、デジタル技術を活用する力等の時代の変化に対応した学びを創造する力を身に付けている。
- 情報化・技術革新等に関する知識・技術を身に付けている。
- 学び続ける姿勢を有している。

学校の姿

- 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有している。
- 教育内容の質の向上に向けて、様々な調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して、改善を図る一連のPDCAサイクルが確立されている。
- 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、産業界等との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させている。

3 目指す姿の実現に向けた産業教育の方向性

デジタル化の進展への対応

- デジタル環境の中で自ら考えて行動し、市民社会に参画する力を育むためのデジタルシティズンシップに関する学習
- 職業に関わる情報モラル、IoTや人工知能、インターネットを活用したビジネスなどのデジタル技術に関する学習

混乱するグローバル化への対応

- 製品標準の標準化、国際的な人・モノ・資本・情報の移動による影響、自国の文化の良さに対する理解及び新たな価値の創造などに関する学習

持続可能な社会の構築への対応

- 安全・安心な食料の持続的な生産と供給、地球温暖化や酸性雨などの地球環境問題と人間活動、生活環境の保全などに関する学習

個人と社会全体のウェルビーイングの実現への対応

- 自分の身近なことから社会の様々な課題にまで関心を寄せ、社会を構成する当事者として、自ら主体的に考え、責任ある行動をとることができるようになること
- 上記のような個人を育成するために、学校教育を学習者主体の視点に転換していくこと

4 目指す姿の実現に向けた産業教育に関する方策

教育課程の編成・実施

視点1 専門教科・科目を学ぶことの意義や価値を感じさせる

- 各学科の基礎的科目等を中核に据えた学習プログラムの開発

視点2 科学技術の進展や社会の変化等を理解させる

- 産業のデジタル化及びボーダレス化の状況等の理解を図るとともに、それに対応するために必要な実践力等の育成を図る学習に関する研究
- 産業のデジタル化及びボーダレス化の状況等の理解を図るための講演会の企画・実施

視点3 探究的な学習活動を充実させる

- 課題解決型学習(PBL)の要素を取り入れた学習プログラムの開発
- キャリア教育の視点に立った専門的な知識・技術の習得や資格取得等の学習に関する研究
- 学習活動(販売実習等)を円滑に実施するための財務規則等の整理

視点4 実践的・体験的な学習活動を充実させる

- ジョブシャドウイングの実施
- 様々なインターンシップの実施(長期インターンシップ、アカデミックインターンシップ、海外インターンシップ)
- 日本版デュアルシステムの実施
- 大学・企業等との共同研究

視点5 産業界や高等教育機関等と連携を図る学習活動を充実させる

- 地元広島に誇りをもつようになる学習プログラムの開発
- 起業家精神等の育成を図るための事業の実施(クラウドファンディング、プロボノ等の活用)
- 知的財産権等に関する学習活動の実施
- 最先端のデジタル機器とその原理を学ぶことのできる手で操作する機器の両者の扱いを学ぶ実習の実施

視点6 学校・学科横断的な学習活動を充実させる

- 教育課程内・外を視野に入れた学校・学科横断による探究的な学習プログラムの開発
- 社会の課題を解決するアイデアを創出する独自のビジネスコンテスト等の実施

教職員の資質・能力の向上

視点1 カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、各専門分野を超えた教育課程を編成する

- キャリアステージに対応した教育課程編成等に関する研修会の実施

視点2 探究的な学習活動を充実させる

- ファシリテート力養成研修の実施
- データサイエンス、プログラミング、遵法精神、知的財産権等に関する研修会の実施

視点3 産業社会の変化等に対応した教育活動を充実させる

- 産業現場訪問・実習及び産業界との懇談会の実施
- 産業界や高等教育機関における研修会の実施
- 産業界や高等教育機関への派遣研修の計画的な実施

教育環境の整備

視点1 科学技術の進展や本県の産業動向の実態等に応じた学校施設・設備を整備する

- 学校間の共同利用・産業界との連携を踏まえた各学校の施設・設備の整備計画の作成
- 探究的な学びを支援する図書や図書館の整備
- 多様な生徒が協働して学ぶことができる施設・設備の整備

視点2 産業界等の教育資源の活用を補助する組織を設置する

- 「産業教育支援協議会(仮称)」の設置
- 学校と産業界をつなぐコーディネーターの配置
- 産業界等の教育資源を活用する人材バンクの設置等

視点3 社会の変化に対応した学科等を設置する

- 今後の専門高校・専門学科の適正配置等について検討

専門教育の魅力等の発信

視点 専門学科の学び及び各教科の学び等を生かした取組を充実させる

- ホームページ、SNS等を活用した専門教育の魅力発信
- 保護者や学習塾を対象とした専門学科の魅力伝える説明会の実施
- 小・中学生を対象としたプログラミング教室等の参加型イベントの実施
- 女子生徒にも、ものづくりの魅力を感じてもらおうFabLab等を活用した取組
- 専門高校・専門学科の教職員や生徒による小・中学生や県民を対象とした出前授業
- 各地域別に小・中・高等学校が一体となって取り組む地域課題の解決に向けたボランティア活動や探究活動の実施